

## 「咲きおり」で織る 絵織りレッスン



デザイン／曾田よう子

### <用具>

手織り機「咲きおり」 40cm  
シャトル  
58-124 つづれ櫛  
とじ針  
55-252 ニッティングスレダー

### <材料>

たて糸 咲きおり用たて糸<太>クリーム  
よこ糸 スキー マレーネ  
2401(白)、2403(ベージュ)、2408(赤)  
2409(橙)、2410(黄)、2411(緑)  
2413(青)、2415(黒)  
咲きおり用たて糸<太>クリーム

よこ糸の織り密度 14段/cm  
たて糸の幅・本数 8cm 24本  
たて糸の長さ 60cm  
織り上がりサイズ 8cm×8,5cm

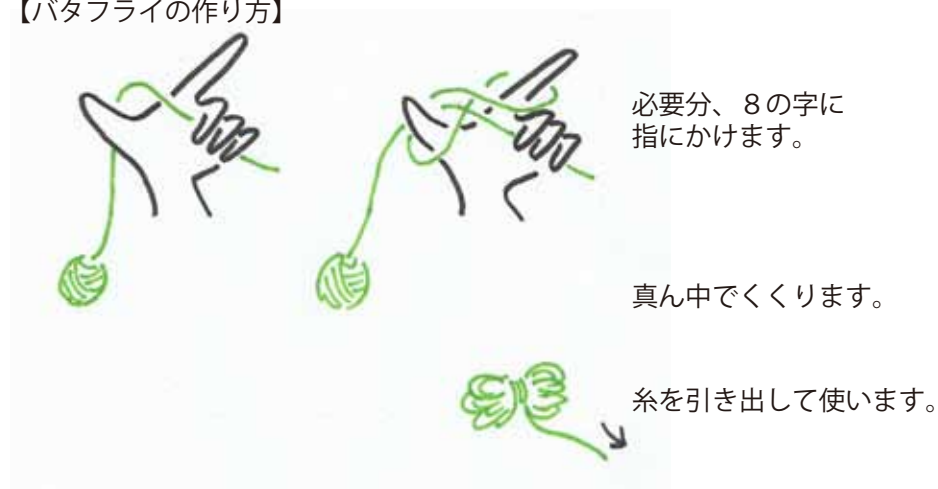
### <作り方>

※織っているときは裏を見ながら織ることになります。

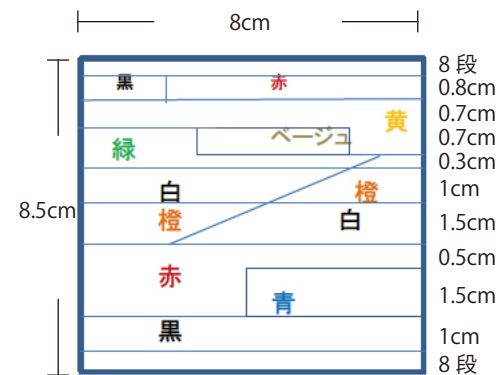
※糸かえは織り地の上面で行い、最後に始末します。

- ①咲きおりにたて糸をセットし、別糸で3段捨て織りします。
- ②咲きおり用たて糸をシャトルに巻き、8段平織します。
- ③各色よこ糸を下図の要領で糸束にします。これをバタフライと言います。

### 【バタフライの作り方】



- ④黒のバタフライをシャトルと同様にたて糸の間に通し1cm平織します。



裏／織るときに見える面

⑤次は2色を左右に織り分ける練習をします。  
写真のように真ん中からスタートします。  
開口したたて糸の間に赤、青それぞれ左右に通し1段織ります。



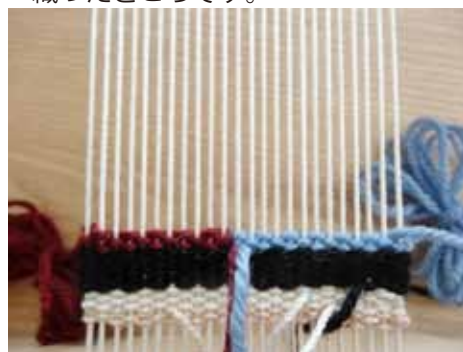
⑥開口を変え、スタート位置までそれぞれバタフライを通し、織り面の上に出します。



⑦開口を変え、それぞれ1本たて糸に引っかけてから開口の間にバタフライを通します。



織ったところです。



⑧繰り返して1.5cm織ります。  
この時、つづれ櫛を使ってしっかりよこ糸を押さえます。

⑨赤と青の織り地の間には隙間ができます。  
これを「はつり」といい、つづれ織りの特徴になります。



⑩赤糸で5mm織ります。  
青糸は数cm残して切ります。仕末は最後にします。

⑪次は斜めに色を分ける練習です。  
少し左よりからスタートします。開口して左向きに橙、右向きに白のバタフライを通し1段織ります。

⑫開口を変えバタフライを通しますが、それぞれスタートよりたて糸1本右側で織り面の上に出し2段目を織ります。

⑬開口を変え、たて糸に絡めてまた左右にそれぞれバタフライを通し3段目を織ります。



⑭橙と白の接点を1本づつ右にずらしながら、繰り返して1.5cm織ります。



⑮左右の色を途中で変えて1cmさらに織ります。

⑯緑で3mm織ります。

⑰次は3色で織り分ける練習をします。  
開口して黄とベージュの糸端が同じところから出るようにバタフライを通します。  
緑とベージュのバタフライを同じところから織り面の上に出します。



緑とベージュ

黄とベージュ

⑱織って開口を変え、たて糸に絡めそれぞれの糸初めの位置まで戻して織り面の上に出します。

⑲織って開口を変え、⑰⑱を繰り返して7mm織ります。



⑳黄色で7mm織ります。

㉑黒と赤の2色で左右織り分け8mm織ります。

㉒咲きおり用たて糸で8段織ります。

㉓捨て織り3段織って、機から外します。

⑭糸をとじ針で仕末します。たて糸に沿わせて織り地の中に隠します。ニッティングスレーダーがあると便利です。余った糸端はカットします。



あと便利です！



58-124 つづれ櫛



55-252 ニッティングスレーダー

⑮たて糸を仕末します。とじ針を使って1本隣のたて糸に沿わせて、織り地に入れ込みます。最後の1本は手前隣に入れ込みます。糸の余りはカットします。



⑯完成です！

表

裏

